

案件化調査 ミャンマー国 イラワジ川流域における低吃水軽量台船を活用した農産物及び 関連資材輸送システムの案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：SAマリン有限会社
- 提案企業所在地：広島県福山市
- サイト・C/P機関：イラワジ川流域・ミャンマー国 運輸省水運公社

ミャンマー連邦共和国の開発課題

- 主要産業である農業振興による所得向上
- 道路、鉄道など陸上交通インフラの遅れによる物流対策
- イラワジ川の水運としての活用
- 水深が1m以下に乾季のイラワジ水運航行対策
- 主要産業である農業に加え、イラワジ川流域住民の生活物資輸送手段の安定化

中小企業の技術・製品

- 軽量低吃水のため1m以下の浅瀬でも航行可能
- 一般の鉄製台船より積載能力増(3割)
- 軽量による燃費性能アップ
- 物流インフラ(荷捌き施設、係留施設など)としても利用可能
- 技術指導によりミャンマー国での現地生産も可能

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 技術協力(人材育成、研修受入)、無償、有償による台船及びタグボート建造支援
- 輸送手段(台船)と輸送インフラ(簡易型河川港湾)による水運システムの安定化により、主要産業である農業(農産物)、流域住民への生活物資(油、食材、雑貨)輸送の活性化、イラワジ流域への肥料輸送(輸入、下流から)により、イラワジ川流域の米の生産量が2倍の4,400トンに向上。5,500億円の生産誘発に相当。

日本の中小企業のビジネス展開

- 内陸水運公社との合併による造船事業(船舶修理含む)
- 内陸水運公社との合併による水運事業(イラワジ川流域物流事業)

